

2022年10月26日

国立研究開発法人 国立がん研究センター
理事長殿
東病院長殿

国立研究開発法人国立がん研究センター
東病院 臨床研究外部監査委員会委員長

(自署) 竹内 勤

監査結果について

「医療法の一部改正（臨床研究中核病院関係）の施行等について」（平成27年3月31日付 医政発0331第69号 厚生労働省医政局長通知）（以下、「局長通知」という）第5-4(1)イ(ウ)に基づき、監査結果を作成しましたので、別紙のとおり提出いたします。

以上

監査結果

2022年10月3日に開催した国立がん研究センター東病院臨床研究外部監査委員会（以下、「監査委員会」という）における監査結果を以下のとおり作成し、報告いたします。

1. 監査の概要

(1) 事前書面評価

監査委員会に先立ち、局長通知 第5-4(1)アに規定される「病院管理者が行う管理・監督業務を補佐するため」の委員会の位置づけとして、東病院長が開催する「治験・臨床研究運営委員会」会議資料（2021年7月～2022年6月分）等書面に基づく事前評価を実施いたしました。評価項目は以下のとおりです。

<評価項目>

- ① 2021年度の付帯意見について
- ② 特定臨床研究（企業治験・医師主導治験・介入+侵襲臨床研究）の実施状況について …局長通知 第5-4(1)ア(ア) 関連
- ③ 病院長による①の確認体制について …同上 関連
- ④ 不適正事案の確認体制について …同(イ) 関連
- ⑤ 不適正事案に対する対応について …同上 関連

(2) 監査委員会における監査

監査委員会において、病院長より国立がん研究センター東病院臨床研究支援部門における1年間の取組報告、及び事前評価意見に対する東病院からの回答を受けた後、質疑応答を行い、局長通知第5に規定される病院管理者が行う管理・監督業務の適否について検討いたしました。

検討の結果、上記評価項目①～⑤について、いずれも「適」と判断いたしました。

参考)

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 臨床研究外部監査委員会規程

(平成27年4月1日) (規程第78号)

(定足数及び議決方法)

第6条

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決する。可否同数の場合は、委員長が決定する。

2. 監査の結果

「適」

付帯意見：

- 1) コロナ禍においても着実に臨床研究の成果を上げてきており、引き続き継続してほしい。一方で橋渡し研究支援センター等の新しい組織も立ち上がったことから、ガバナンスの強化にも取り組んでほしい。その際には、国の方針という枠を超えて、東病院から様々な課題について情報発信してほしい。
- 2) 世界的なデジタル化の動きの中で、日本が取り残されることがないように、不適正事案の抑止への活用も含め、上手にデジタル化を取り入れて、臨床研究の環境構築してほしい。
- 3) 海外からの医薬品・医療機器の導入も視野に入れた国際的展開を、東病院が中心となって日本のモデルケースとなるよう進めてほしい。